

チャレンジ！！オープンガバナンス 2023 市民／学生応募用紙

自治体提示の地域課題名 (注1)	No.	自治体提示の地域課題名	自治体名
	- (事務局用)	「室蘭が好き。」を増やして、みんなで住み続けたいマチを創る	室蘭市
チームがつけたアイデア名 (公開) (注2)	Good bye ストレートネック !! ～ 子供たちをストレートネックから守りたい ～		

(注1) 地域課題名は、COG2023 サイトの中に記載してある応募自治体提示の地域課題名を記入してください。

(注2) アイデア名は各チームで独自にアイデアにふさわしい名前を付けてください。これは自治体提示の地域課題名とは別です。

1. 応募者情報 下の欄のうち赤字部分は削除して該当する番号を記入のこと

チーム名 (公開)	あなたの姿勢を守り隊		
チーム属性 (公開)	1. 市民、2. 市民／学生混成、3. 学生	2	
メンバー数 (公開)	6 名		
代表者 (公開)	藤田真理子		
メンバー (公開)	若林 翼、鈴木菜月、勝木煌弥、勝木鷹弥、坂本壮吉		

【注意書き】※ 必ず応募前にお読みください。

＜応募内容の公開＞

1. アイデア名、チーム名、チーム属性、チームメンバー数、代表者と公開に同意したメンバー氏名、「アイデアの説明」は公開されます。
2. 公開条件について：
「アイデアの説明」でご記入いただく内容は、クリエイティブ・コモンズの CC BY (表示) 4.0 国際ライセンスで、公開します。ただし、申請者からの要請がある場合には、CC BY-NC (表示—非営利) 4.0 国際ライセンスで公開しますので、申請の際にその旨をお知らせください。いずれの場合もクレジットの付与対象は応募したチームの名称とします。
(具体的なライセンスの条件につきましては、<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/legalcode.ja>、および、<https://creativecommons.org/licenses/by-nc/4.0/legalcode.ja> をご参照ください。また、クリエイティブ・コモンズの解説もあります。<https://creativecommons.jp/licenses/>)
3. 上記の公開は、内容を確認した上で行います。(例えば公序良俗に違反するもの、剽窃があるものなどは公開いたしません)
4. この応募内容のうち、「自治体との連携」は、非公開です。ただし、内容に優れ今後の参考になりうると判断したものは、公開審査後アドバイスの段階で相談の上公開することがあります。

＜知的所有権等の取扱い＞

5. 「アイデアの説明」中に、応募したチームで作成・撮影したものではない文章、写真、図画等を使用する場合、その知的所有権を侵害していないことを確認してください。具体的には、法令に従った引用をするか、知的所有権者の許諾を取得し、その旨を注として記載してください。「自治体との連携」中も同様をお願いします。
6. 「アイデアの説明」中に、人が写りこんでいる写真を使用している場合、使用している写真に写りこんでいる人の肖像権またはプライバシーを侵害していないことを確認してください。

＜チームメンバー名簿＞

チームメンバーに関する情報を最終ページに記載して提出してください。(2. の扱いによる代表者氏名を除き、他のメンバーに関する情報は本人の同意があるものを除き COG 事務局からは非公開です。詳細は最終ページをご覧ください。)

アイデアの説明が肖像権・著作権等を侵害していないことの確認 **確認後 OK なら右に○印を記入⇒ ○**

2. アイデアの説明（公開）

(1) アイデアの内容（公開）

(1) アイデアの内容、(2) アイデアの理由、(3) 実現までの流れ、の三項目に分けて記入してください。

必要に応じて説明の途中に図表を入れていただいて結構です。

(1) アイデアの内容（公開）

アイデアは、対象とする課題解決のために、何をする社会的な活動（サービス）なのか、をわかりやすく示してください。これが将来実現した場合、魅力的で新規性があり、実践したくなり、活用してみたいなる、そしてその結果として、課題が解決される、そんなわくわく感のあるアイデアを期待します。2ページ以内でご記入ください。

<応募チームとして解決したい課題のポイントはこれです！をごく短く以下に書いてください>

<解決したい課題のポイント>

最近、子供たちがコロナ禍でのオンライン授業や外出自粛からの長時間スマホゲーム等によりストレートネックの危険にさらされている。そんな子供たちのストレートネックになってからでは治療できないので予防することが解決したい課題である。

<以上の課題解決のために「何を」するアイデアか、それを「誰が」「いつ」「どこで」「どのように」するかをわかりやすく書いてください> <アイデアが具体的に実行される場面を想定してください。>

<よいアイデアを生むには関連データの分析確認とデザイン思考によるアイデアを使う人への共感が原点です>

<提案するアイデアの内容>

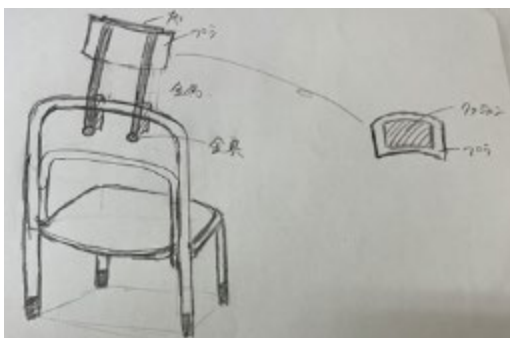
【目的】

最近、特にコロナ禍以後、大人も子供も多くなっているストレートネックを予防するために、ギガスクールが進んでいる小学校・中学校の椅子にストレートネック予防器具設置することでストレートネックにならないようにすることを目的とする。スマートフォンやゲームをする人たちに多くなっているストレートネックは、なってしまうと、今は確固たる治療法がなく日々の生活に支障をきたしてしまう。よって小学生、中学生のうちから、姿勢に気を付けるように椅子に器具を設置する。同時に、ものつくりの町室蘭の中小企業の技術力を生かして制作し、将来的には日本全国の学校で採用してもらい、室蘭市の活性化へもつなげることが目標である。

【内容】

① 商品名：ネックラン*スマホ首予防具* 価格 5000円 （仕入れ価格2500円）

小中学生のうちからストレートネック（スマホ首）にならないように、最近ギガスクール構想でタブレット等を使う機会が多い小中学校で椅子につけてもらい、予防と姿勢をよくする意識を付ける。なってしまうないように意識することで、将来、大人になった時に困らないで幸せに健康に暮らすことができる。



サイドをアルミで、頭を付ける部分はプラスチックでつくり、椅子の背につけるものにする

2. アイデアの説明（公開）

(1) アイデアの内容（公開）

Cata-MEDICA メディカルネックサポーター

- ② 今あるものは、ストレートネックになってから緩和のために使う右のようなサポーターや枕、コルセットがたくさん販売されているが予防器具は見当たらない。なってから困らないように予防することと予防の意識付けをすることが 大切であることを売りにする。
- ③ 同じような商品・サービス(競合品の確認)
- ・上記のようにストレートネック緩和器具は多く販売されている。
 - ・価格も2000円～16000円まで多種である。



- ④ 上記のようにある小学校の椅子の背に取り付けて頭を支えて姿勢をよくするものとする。
小学校では、学年ごとに椅子の大きさが異なるので、高さや幅をスライド式で変えられるようにする。
八丁平小学校を訪問し洲崎教頭先生に案内していただき、実際の椅子の採寸をしたり意見を聞くと、生徒の意識付けにもなり良いのではないかと話してくれた。
- ⑤ 室蘭市役所の仲介で公益財団法人室蘭テクノセンターを通して、ものづくりの町室蘭の4社が制作の協力をしてくれる。
- ・アオキ製作株式会社 富樫義弘 常務取締役
 - ・株式会社永澤機械 長沢優 代表取締役
 - ・株式会社三好製作所本社 魚戸一樹 工場長
 - ・株式会社興伸工機 五十嵐啓 専務取締役



2. アイデアの説明（公開）

(2) アイデアの理由（公開）

次にアイデアを提案する理由（なぜ）について、それをサポートするデータを根拠として示しつつ2ページ以内で説明してください。ここではアイデアの必要性、効果を確認します。データとは、統計類などの数値データやアンケート・インタビュー・経験の記述、関連の計画、既存の施策などの定性データも広く含みます。データは出所を明らかにしてください。

<このアイデアを提案する理由（なぜ）を書いていきます>

<先の（1）で書いた「何を」「誰が」「いつ」「どこで」「どのように」するというアイデアの内容を支えるための、「なぜ」このアイデアがいいのか実現したいのかの理由を上記のデータを示しつつわかりやすく書いていきます>

きっかけとこのアイデアを提案するに至った経過

1.私（若林）が高校1年生の時に、頭痛と首や背中が痛くて病院へ行くと、ストレートネックと診断され、現代医学では治らないといわれた。困っている調べるうちに、確固たる治療法もなく対処用の首サポーターが種類あるにすぎないとわかった。

それからも痛くて、背中をまっすぐに出来なかったり、学校鞆を持てなかったりして悩んだが、うまくつきあうしかないとわかり、私のようにならないでほしいと考えるようになった。また、友人たちにも悩んでいる人がいることがわかった。

・ストレートネック（スマホ首）とは普段、パソコンでの作業やスマホを使う機会が多い方や運動不足の方がなりやすい病気である。「首や肩が痛い」、「めまいや頭痛がする」、「手が痺れる」といった症状が現れ、苦痛になっている人々がいる。



友人（正常）



私（ストレートネック）

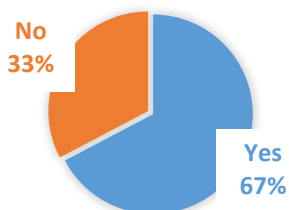
・コロナ禍が長く続き、オンライン授業や外出自粛からの長時間スマホゲーム、GIGAスクール構想から小学校中学校の授業でもタブレットを使うなどの理由から、きっと病名ははっきりしなくてもストレートネックのような症状の児童や生徒がいるに違いないと思った。



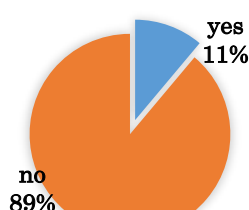
2.そこで、校内でアンケートして調べてみることにした。

本校の生徒数は362名で教職員が35名だった。

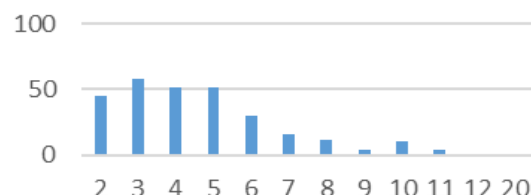
姿勢を良くする道具を使いたい



ストレートネックを発症している人

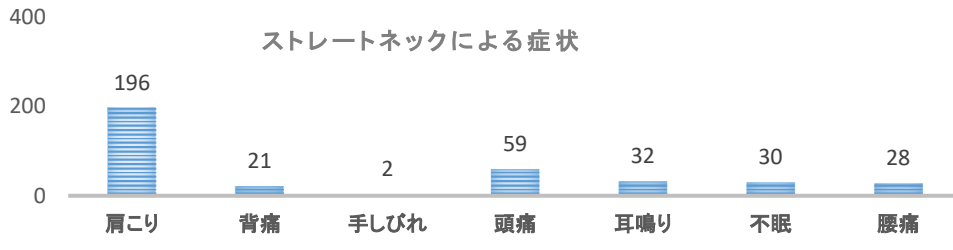


スマホ使用時間



2. アイデアの説明 (公開)

(2) アイデアの理由 (公開)



結果：①ストレートネックである……10.7%

- ②ストレートネックを知っている……35.0%
- ③肩こりや背中中の痛み、手のしびれなどがある……41.2%
- ④自分は猫背である……50.1%
- ⑤姿勢をよくする道具を使いたい……67%
- ⑥1日に2～5時間スマホを使う……57.9%

以上から全校の1割がストレートネックだと分かった。

3. smart フォン使用時の頭を支えられる姿勢補助器具の制作を考えた。

- ①首が常にうつむき加減にならないようにしたい。
- ②椅子につける補助器具を考えた。
- ③持ち運びできて使いやすいもの。
- ④高校生が買える値段設定。
- ⑤試作した。100円ショップで買える範囲での試作をした。



4. 室蘭市役所企画課の川口主任とパナソニック ITS の佐藤室長に相談した



こんな企業を求めています

- ◎ できることなら、室蘭市内の企業 室蘭市外でも協力してくれるなら嬉しいです。
- ◎ 学生の想いを形にしてくれるアツイ想いのある企業
- ◎ 学生のため、試作品を無償で作成し、協力してくれる企業
- ◎ まずは学生の想いを聞いて、助言や技術のある企業を紹介してくれる企業



5. 公益財団法人 室蘭テクノセンター 堀井主幹に地域のものづくりの方

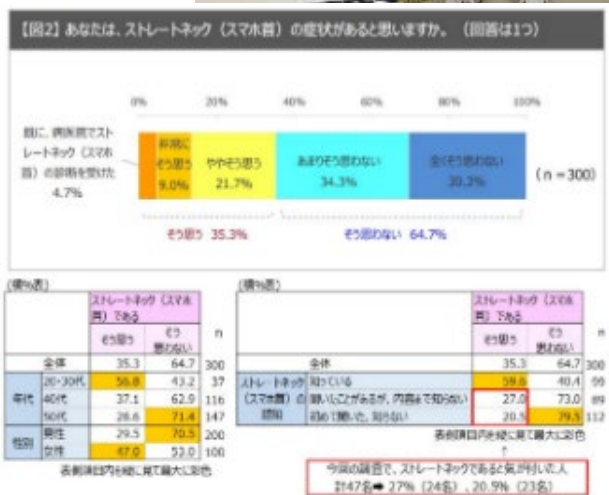
制作方法や協力してくれるところはないかを相談した。

・室蘭市はものづくりの町なので4社の社長を紹介して頂き意見を話し合った。

結果：なってしまったからでは遅いので小中学生から意識付けをしてスマートネックにならないように予防器具を作ることになった。

6. データを調べたり意見をヒアリングした。株式会社アイスタットによる20歳から59歳の300名調査では約4割近くがストレートネックであり、20代から30代で最も多いと判明。

- 7. 室蘭市保健福祉部の西館部長に聞いた。
- 8. 室蘭市五十嵐整形外科の五十嵐院長にヒアリングした。
- 9. 日本理学療法学会連合 藤澤理事長に助言をもらった。



アイデアを**実現する主体**、アイデアの**実現に必要な資源（ヒト、モノ、カネ）**の大まかな規模とその現実的な調達方法、アイデアの**実現にいたる時間軸を含むプロセス**、実現の制度的制約がある場合にはその解決策等、**アイデア実現までの大まかな流れ**について、**2 ページ以内**でご記入ください。ここでは実現可能性を確認します。

＜アイデアに即した実現に向けての具体的な活動を上記のポイントに即して工夫して書いていきまづ＞

＜以下のように分けて書いていきます＞

1. **実現する主体**
2. **実現に必要な資源（ヒト、モノ、カネ）**の大まかな規模とその現実的な調達方法
3. **実現にいたる時間軸を含むプロセス**

1. **実現する主体**

- 【i】**室蘭市役所の前に事務所**を構える。常に公共機関と連絡を密にする。
- 【ii】**営業**が中心となるが、室蘭市や近郊だけではなく、**ネット**を通して全国の学校や教育委員会に働きかける。注文が入り次第、室蘭の会社で製造する。試作していただいた企業は力を入れてバックアップしてくれている。

2. **実現に必要な資源（ヒト、モノ、カネ）**

- ① **ヒト**：事務所運営者・事務職・営業・インターネット対応者（高齢者の雇用）
- ② **モノ**：事務所開設用品（事務機・パソコン等）
- ③ **技術**：室蘭テクノセンター・室蘭市ものづくり企業4社に依頼
ノウハウ：室蘭市で持っているものづくりの技術（鉄鋼・鉄製品・プラスチック金型技術）

④**カネ**

3. **実現にいたる時間軸を含むプロセス**

収支計画		（年間）及び計算方法		計算方法
		1年後	[5]年後（任意の年を記入）	
売上高		2300万円	4800万円	
売上原価（仕入高）		1150万円	2400万円	
経費	人件費	446万円	1039万円	
	家賃	144万円	144万円	
	広告宣伝費	12万円	24万円	
	その他	92万円	72万円	
合計		694万円	1279万円	
利益		456万円	1121万円	
1年目：室蘭市のみの生徒数		4600人		
5年目：室蘭市以外、伊達市、登別市、苫小牧市				

想定している顧客（ターゲット）
 年齢層：小学生・中学生 性別：男女
 ターゲット：**小学校・中学校での設置**
 【i】**室蘭市・伊達市・登別市・苫小牧市の教育委員会へ説明し、働きかけて設置**してもらおう。室蘭市企画課やパナソニックITS株式会社、室蘭テクノセンターにも引き続き説明協力をお願いする。室蘭市の小中学校の給食の食器を納入している室蘭市ものづくり企業にも応援していただける。また、全国の学校に向けても、教育委員会や市役所などへ働きかけて、リーフレット等を送る。
 当初：**室蘭市の小中学生4600人**がターゲットとなる。続いて、**登別市、伊達市、苫小牧市の9600人**へひろげる。
 その後、北海道から全国へと広げていく。
 【ii】**ネットでも宣伝して、家庭でも使用できるようにしていく。ものづくりの鉄のまち室蘭市特産品として、ストレートネック予防器具**を取り扱うように働きかける。

2. アイデアの説明（公開）

(2) アイデアの理由（公開）

収支計画の詳細

内容	単価	数量	小計	詳細
1年後				
ネックラン*スマホ首予防具*	5,000	4,600	23,000,000	室蘭市の小中学校
売上高			23,000,000	
収入計			23,000,000	
仕入れ額（売上原価）				
材料アルミ・SUSグリーンフレーム	400×4本			4本のアルミポール
材料・ねじ器具	100×4個			4本のねじ
材料・プラスチック金型	1,500,000			最初の金型1機
頭部用プラスチック	250			1個当たり
委託製造（仕入れ価格）	2,500	4,600	11,500,000	仕入れ額
人件費	1,030	3,840	3,955,200	週5日2人アルバイト
人件費	500,000	1	500,000	社長+営業1人
家賃	120,000	12	1,440,000	光熱費込み
広告宣伝費	20,000	6	120,000	6回
パソコン	200,000	1	200,000	初期購入
その他	60,000	12	720,000	通信費等
支出計			18,435,200	
利益			4,564,800	
5年後				
ネックラン*スマホ首予防具*	5,000	9,600	48,000,000	室蘭市以外の小中学校
売上高			48,000,000	
収入計			48,000,000	
仕入れ額（売上原価）				
製造委託費（仕入れ価格）	2,500	9,600	24,000,000	仕入れ額
人件費	1,030	3,840	9,888,000	週5日5人アルバイト
人件費	500,000	1	500,000	社長+営業1人
家賃	120,000	12	1,440,000	光熱費込み
広告宣伝費	40,000	6	240,000	6回
その他	60,000	12	720,000	通信費等
支出計			36,788,000	
利益			11,212,000	

実現に向けて考えられる課題（ハードル（障害）やリスク）と対処方法

- ① 若い営業スタッフの雇用と大学生の遠隔地営業スタッフアルバイトを考えているが、理解して公共機関への営業がどのくらいできるかである。また、事務員して高齢者雇用したい
 - ② 事務所は空き店舗を室蘭市の起業サポート等を使って開くが、当初の製造や営業資金調達を考えなくてはならない。
 - ③ 室蘭テクノセンターが協力してくれているが、一度プラスチックの金型を作ると150万円くらいかかるので失敗できない。
 - ④ 予防器具としての認知をどうしていくかが課題である。
- 一度設置したらしばらくは売れないこととメンテナンスを考えなくてはならない。常に買い替えを考えてもらう。